



# 地域協働学校運営協議会だより

第10回（3月14日）運営協議会会議の概要です。

■日時 令和4年3月14日（月）14時55分～16時30分

■場所 戸塚第三小学校 体育館・会議室

## 1 副代表挨拶

先生方、大勢お集まりいただきありがとうございます。先が見えない状況のなか、1月には素晴らしい作品展を開催いただいた。先生方の努力の賜物だと思う。新型コロナの感染が減速しつつあるが、まだ油断できない。この1年、大変だったと思う。今後ともよろしく願います。

## 2 各支援部の活動について

### <安全安心支援部>

○来年度から子供たちの交通安全とソーシャルディスタンスを意識した集団登校の再開を計画している。再編成した地区別班を家庭に通知した。

### <学習支援部>

○コロナ禍でなかなか地域の方とのふれ合いができてなくて残念だった。

○コロナ禍の隙間で、1、2年生は委員による英語の授業、2年生は町探検、4年生はブラインドサッカー体験、5年生は茶道会館での茶道体験、6年生は模擬選挙の活動ができた。

○コロナ前に比べると、外に出たり講師を招いたりする体験授業が少なくなってしまったので、来年度はコロナ禍の合間でうまく体験活動ができるようにしたい。

○学習支援部の成果として、体験的な活動はできなかったが、子供たちはタブレットパソコンのスキルが上がった。

○例年、地域協働学校の報償費の予算から吹奏楽団の講師代を充当していたが、吹奏楽団がコロナ禍で活動を休止しているため、その予算を使って、車いすラグビー体験を行った。（副校長）

### <環境美化支援部>

○屋上の池の整備をした。老朽化が激しく、このままだと決壊してしまうおそれがあり、新しい物を作ることになった。3月末に工事予定。

○来年度は、打ち水や花壇の整理、水やりを実行していく。

○スポーツ文化事業の園芸は、来年度は予定無し。

○正門脇に、前地域協働学校運営協議会委員の方がお花を植えてくださった。（副校長）

## 3 今年度の学校評価(振り返り)と来年度に向けて

資料参照

## 4 校長より

○今年度の振り返りと今後の取組

・昨年度に引き続き、今年度もコロナ禍で、学校行事、地域行事ができなかった。制限や制約の中での学校、地域、家庭での生活になった。

・作品展を3学期に実施できてよかった。当初は学芸会を予定していたが夏休み明けに作品展に変更し、図画工作担当教諭を中心に教職員が協力して、無事成功できた。

・2学期に学年毎の運動会を実施した。学年ごとに実施する長所もあるが、通常の運動会では全校で盛り上がるので、いろいろなよさを参考にしながら来年度は計画したい。

・本日4校時に、6年生を送る会を開催した。体育館に一堂に会せないため、各教室で、それぞれの学年が作成した動画を視聴した。温かい、よい雰囲気の中で、6年生への「卒業おめでとう」の気持ち伝わっていたと思う。6年生も自分の得意なものや好きなものを発表し、下の学年に伝わったと思う。

・現在児童数218名、6年生31名が卒業して、来年度は新1年生が40数名入学する予定。現段階では、1～3年生が2クラス、4～6年生が1クラスの計9学級を予定。

・コロナ関係では、1月末から2月末にかけて分散登校（4～6年生）を行った。今は落ち着きつつあるが、マスクの着用や手洗い、友達同士くっつかないなど、指導を徹底していく。

○学校評価結果報告 → 資料参照

○教育活動の様子について

ホームページ「戸三日記」を見せながら、2月2日～3月10日を振り返る。

・3月4日「パラリンピアンをお招きして(4・5年)」(副校長)

東京パラリンピック銅メダリストの池崎大輔選手と小川仁士選手にお越しいただいた。事前にルールなどを学習し、実際に体験した。池崎選手のタックルで、ものすごい音と共に車いすが宙に浮くのを見て、子供たちはとても驚いていた。しかし、実際にタックルをしてみると痛くなく、怖さはなくなった。その後、4人対4人でゲーム体験をした。車いすだと思ったようには動けず、強いパスを出すと相手が取れないので、正確にやさしくパスを出すことを子供たちは学んだ。最後にパラリンピックの銅メダルを見せていただいた。車いすラグビーは、新宿区では初めての試みだった。

(委員) 車いすは持ってきてくれたのか。

→ (副校長) 車いすは車で運搬してくださった。

## 5 来年度の学校行事日程・時程について

資料参照

## 6 その他

・来年度の地域協働学校運営協議会の予定について

9回予定 資料参照

(委員) 民生委員をしていて、朝居るときは家の前に立って、登校を見守っている。通学路に工事現場が多く非常に危険なので、近くの工事現場の警備員に子供たちのことをよろしくとお願いはしている。学校や子供たちの安心安全が一番である。

(委員) いろいろなことを伺っていて、本当に先生方の努力があつてこそだと思ふ。コロナ禍でも工夫をされていて、少しでも楽しくしようとする気持ちが伝わってくる。素晴らしい学校だ。素晴らしいしかった作品展や、アスリートを招いての体験授業など、先生方が一生懸命されていることをひしひしと感じる。1年間ありがとうございました。

(委員) コロナ禍で現場が大変で、次から次へと先生方の業務が増えていく中で、これだけの教育されて子供たちを見守ってくださり、ありがたいと感じている。毎回写真をたくさん紹介して指導の内容を説明くださり、学校に来られないが、様子を知ることができてありがたい。先生方も様々なところからの要望の対応に大変だったと思ふ。

戸三小の子供たちは素直で、学校に嬉しそうに登校している。地域でお手伝いできることがありましたら、お声かけください。

(委員) 戸三小に関わることが多く、10年近くなる。子供たちが年を追うごとによくなり、素直に育っているのがわかり、先生方の指導の賜物だと思う。今後も素直な子供たちを育ててほしい。

(委員) ホームページを毎回見せていただき、学校、子供たちの様子がよくわかる。このホームページをどれだけの保護者が見ているのか、もっと見てもらいたいとアピールしたい。

(委員) 協議会に参加させていただいてまだ2年目だが、その中でも、先生方や地域の方が本当に子供たちをよく見ているなど、改めて実感している。本当に素晴らしい学校だと感じている。

## ○教育支援課 社会教育指導員より

戸三小には昨年度から2年間担当させていただいた。本当に皆さんがおっしゃるように素晴らしい学校で、昨年度・今年度と大変な時に、細かいところまで時間を費やし、教材研究や慣れないタブレットを活用されている。今日も先生方から、タブレットを使い、欠席している児童と話ができたのがよかったと話があった。慣れない物を使うとなると、誰かがリーダーシップをとり、引っ張っていかないとできない。区内でも戸三小は先進校だと思う。ホームページも毎週のように更新されている。戸三小の教育活動がホームページを見るだけでわかる。いろいろな方に見ていただきたい。また、全ての先生方が委員と情報交換をされているのが素晴らしい。先生方にも感謝しなければいけないと思う。委員の皆様も、1年間、戸三小の子供たちのために意見をお寄せいただき、足を運ばれ、ありがとうございます。来年度もよろしく願いいたします。

※ 令和4年度第1回 5月6日(金)14時45分～

